

北東アジア地域自治体連合環境分科委員会
活動報告書（2024年）



日本国富山県
(2025年3月)

目 次

I	2024年個別プロジェクトの実施状況	1
i	提案された個別プロジェクト	1
ii	個別プロジェクトへの参加状況	1
iii	各個別プロジェクトの実施状況	2
II	2025年個別プロジェクトの提案状況・参加意向	15
i	提案された個別プロジェクト	15
ii	各個別プロジェクトの提案内容	15
iii	個別プロジェクトへの参加意向	25
III	次期コーディネート自治体就任希望調査の結果	26
IV	環境分科委員会の活動計画（2025年）	26

I 2024年個別プロジェクトの実施状況

i 提案された個別プロジェクト

No.	プロジェクト名	提案自治体
No. 1	北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業	トムスク州、富山県
No. 2	漂着物の発生抑制に関する学習・啓発事業	富山県
No. 3	北東アジア地域環境ポスター展	富山県
No. 4	海岸生物調査	富山県
No. 5	ブルーカーボン青少年環境教育体験プログラム	忠清南道
No. 6	フォトコンテスト「Eco-selfie - 自撮りで環境保護」	トムスク州
No. 7	北東アジア地域生物季節調査	富山県
No. 8	河川でのバイオモニタリング	沿海地方

※ 河川でのバイオモニタリングは、提案自治体の都合により中止

ii 個別プロジェクトへの参加状況

(◎：提案自治体、○：参加自治体、△：中止された個別プロジェクトへの参加意向自治体)

自治体※1		プロジェクト	環境活動 リーダー	漂着物※2	ポスター展	海岸生物 調査	ブルー カーボン	フォト コンテスト	生物季節 調査	河川バイオ モニタリング
中国	山西省		—	—	○	—	—	—	—	—
	遼寧省		○	—	—	—	—	—	—	—
日本	山形県		—	○S	—	—	—	—	—	—
	富山県		○	◎	◎	◎	○	○	◎	△
	石川県		—	○S	—	○	—	—	—	—
	福井県		—	—	—	○	—	—	—	—
	京都府		—	—	—	—	—	—	—	—
	兵庫県		—	○S	—	—	—	—	—	—
	鳥取県		—	○S	—	○	—	—	—	—
	島根県		—	○S	—	—	—	—	—	—
	山口県		—	○S	—	—	—	—	—	—
	長崎県		—	○S	—	—	—	—	—	—
韓国	江原特別自治道		—	○S	—	—	—	—	—	△
	忠清南道		—	—	○	—	◎	—	—	—
	慶尚南道		—	○S	—	—	—	—	—	—
モンゴル	ウランバートル市		—	—	—	—	—	○	—	—
	ドンドゴビ県		—	—	○	—	—	—	—	—
ロシア	ブリヤート共和国		—	—	—	—	—	○	—	—
	サハ共和国		—	—	—	—	—	○	—	—
	アルタイ地方		○	—	○	—	—	—	—	—
	ザバイカリエ地方		—	—	—	—	—	○	—	—
	クラスノヤルスク地方		—	—	—	—	—	○	—	—
	沿海地方		—	—	—	—	—	○	—	◎
	ハバロフスク地方		○	○	○	○	○	○	○	—
	アムール州		—	—	○	—	—	○	—	—
	イルクーツク州		—	—	—	—	—	○	—	—
	サハリン州		—	—	—	—	—	○	—	—
	トムスク州		◎	—	○	—	—	◎	—	—
	ケメロヴォ州		—	—	—	—	—	○	—	—
参加意向自治体数			3か国 5自治体	3か国 11自治体	5か国 8自治体	2か国 5自治体	3か国 3自治体	3か国 13自治体	2か国 2自治体	3か国 3自治体

※1 下線の自治体：北東アジア地域自治体連合（NEAR）の非会員自治体

※2 ○S：「漂着物調査活動」と「漂着物アート制作」のうち前者のみ実施

iii 各個別プロジェクトの実施状況

【No.1 北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業】提案自治体：トムスク州、富山県

1 趣旨、目的

北東アジア地域の青少年（主に高校生）に対して、環境問題に関する意見交換や環境保全活動を通じて相互の友好と理解を促進し、グローバルな視点で地域の環境保全活動に取り組む人材を育成する。

2 事業内容

（１）実施時期

2024 年 8 月 8 日、9 日

（２）実施方法

オンライン形式（Zoom）

（３）実施内容

- ・ スライドを用いて、文化交流、環境保全活動発表を実施
- ・ 環境保全に関するクイズ大会を実施
- ・ 意見交換、異文化交流などの自由交流を実施
- ・ 「ゴミから宝へ（Trash to Treasure）」をテーマとして、自治体ごとにリサイクル・アップサイクル作品を制作 など

（４）参加自治体

3 か国 5 自治体（計 26 名の中高生が参加）

中 国：遼寧省

日 本：富山県

ロシア：アルタイ地方、ハバロフスク地方、トムスク州

（５）実施経過

5～6 月 参加者募集

8 月 事業実施

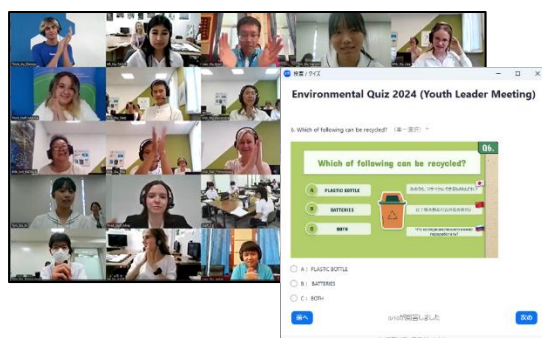
(6) 開催風景



文化・風土の紹介



活動発表



クイズ大会



リサイクル・アップサイクル作品制作



自由交流



集合写真

【No. 2 漂着物の発生抑制に関する学習・啓発事業】提案自治体：富山県

1 趣旨、目的

環日本海地域の沿岸自治体が、海岸漂着物の調査活動に加え発生抑制対策に関する学習会を実施することで、上流域から沿岸地域までの漂着物・ごみ問題についての理解を深め、子どもたちや地域住民の「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心」を育み、日常生活から始めることのできる発生抑制のための行動を促進する。

2 事業内容

子どもや市民の参加を得て、漂着物調査活動及び発生抑制対策に関する学習会を行った。また、可能な自治体においては、漂着物や家庭から出る廃材を利用したアート作品の制作を行った。

(1) 漂着物調査活動

ア 実施時期

2024年9月～11月（原則として秋季に実施）

イ 実施場所

参加自治体の海・河川（内陸河川を除く。）の沿岸地域

ウ 実施方法

- ・ 調査は各自治体が地元の小中高等学校、民間団体等の参加を得て実施
- ・ 調査活動と併せて海洋ごみの発生抑制に関する学習を実施
- ・ 調査結果は富山県（公益財団法人環日本海環境協力センター（NPEC））がとりまとめ
- ・ 2021年から調査項目にマイクロプラスチック（直径5mm以下のプラスチックごみ）を正式に追加（「海岸におけるマイクロプラスチック調査ガイドライン（市民参加型）」（2021年3月）に準じて実施）

エ 参加自治体

3か国11自治体

日 本：山形県、富山県、石川県、兵庫県、鳥取県、島根県、山口県、長崎県

韓 国：江原特別自治道、慶尚南道

ロシア：ハバロフスク地方

オ 実施経過

5～6月 プロジェクト参加案内、マニュアル・調査票の送付等

5月～ 準備、事業実施

カ 活動風景



漂着物調査活動（富山県）



漂着物調査活動（島根県）

（２）漂着物アート制作

ア 実施時期

通年

イ 実施場所

参加自治体内の会場等

ウ 実施方法

富山県が提供する手引書等も参考にして、参加自治体が地元の実状に応じて、学生、住民等の参加を得て実施

エ 参加自治体

日 本：富山県

ロシア：ハバロフスク地方

オ 実施経過

５～６月 プロジェクト参加案内、マニュアル・調査票の送付等

５月～ 準備、事業実施

カ 活動風景



アート制作体験会・展示会（富山県）



造形遊び（富山県）

【No.3 北東アジア地域環境ポスター展】提案自治体：富山県

1 趣旨、目的

北東アジア地域の次代を担う子どもたちから「環境の保全」をテーマとしたポスターを募集し、優秀な作品を展示することにより、北東アジア地域における市民の環境保全意識を一層高める機会とする。

2 事業内容

(1) 展示時期

2024年10月12日（土）、13日（日）

(2) 展示場所

富山県富山市（とやま環境フェア2024会場内）

(3) 実施方法

- ・ 各参加自治体が当該自治体内の子どもたち（小中高生）から作品を募集し、優秀作品を選定
- ・ 各参加自治体が優秀作品を電子化し、開催自治体（富山県）に送付
- ・ 開催自治体（富山県）が参加自治体の各作品をプリントアウトし、ポスター展を開催・展示

(4) 参加自治体

5か国8自治体（ポスター数：71枚）

- ・ 日 本：富山県
- ・ 中 国：山西省
- ・ 韓 国：忠清南道
- ・ モンゴル：ドンドゴビ県
- ・ ロ シ ア：アルタイ地方、ハバロフスク地方、アムール州、トムスク州

(5) 実施経過

3～7月 【各参加自治体】作品募集、開催自治体への作品を送付

10月 【開催自治体】ポスター展開催、開催結果や展示作品のウェブサイト掲載、参加証の送付

(6) 展示風景



【No. 4 海岸生物調査】提案自治体：富山県

1 趣旨、目的

北東アジア地域の海洋生物多様性の保全に向けて、各地域に生息する生物に関する情報の収集、指標生物の生息調査を実施する。本調査を通じて、市民・子どもたちの海の生物への興味を深めてもらい、環境保全・生物多様性保全の意識高揚を図る。

2 事業内容

(1) 実施時期

2024年7月～9月

(2) 実施場所

参加自治体の海岸

(3) 実施方法

- ・ NPECが作成した調査マニュアルに基づいて実施し、参加自治体と結果を共有
- ・ 海の生物に関する知識を有する調査機関やNGO/NPO、専門家が主体となり、市民・子どもたちの参加のもと、海岸の生物を収集し、観察生物名・写真を記録
- ・ 地球温暖化や外来生物に係る指標生物の存在有無の確認
- ・ 調査結果は、NPECが取りまとめ、ウェブサイトを通じて情報発信

(4) 参加自治体

2 か国 5 自治体

日 本：富山県、石川県、福井県、鳥取県

ロシア：ハバロフスク地方

(5) 実施経過

5月～7月 参加者の募集

7月～9月 調査の実施

(6) 活動風景



調査の様子（富山県）

【No. 5 ブルーカーボン青少年環境教育体験プログラム】 提案自治体：忠清南道

1 趣旨、目的

青少年の沿岸環境教育体験を通じて、沿岸生態系ブルーカーボンの重要性を認識するとともに、環境教育及び沿岸生態環境保全の重要性を改めて認識するほか、気候変動に積極的に対応できる人材育成を図る。

2 事業内容

(1) 実施時期

2024年7月～12月（約6か月）

(2) 実施場所

参加自治体の海岸など

(3) 実施方法

- ① 各自治体の海域特性を踏まえた主要ブルーカーボン資源及び炭素削減量等に関する学習（座学）
- ② 各自治体のブルーカーボン資源の特性に沿った現地実習・現地体験学習

【学習例】

- ・海藻類のブルーカーボン炭素削減効果学習（カジメ、ノリ養殖等の地域資源を活用）
 - ・貝類のブルーカーボン炭素削減効果学習（アサリ・ウバガイなどの地元の貝類の資源を活用）
 - ・干潟生物による炭素削減効果及び汚染浄化効果学習
 - ・塩生植物によるブルーカーボン炭素削減効果分析
 - ・貝類博物館、干潟博物館、渡り鳥展示館など地域のブルーカーボン連携展示施設の見学
（貝塚などを材料にブルーカーボンの概念を理解）
- ※炭素削減効果学習とは、ブルーカーボン資源の採取及び炭素固定量を評価、意見交換等を行うもの。

(4) 参加自治体

3か国3自治体

日 本：富山県

韓 国：忠清南道

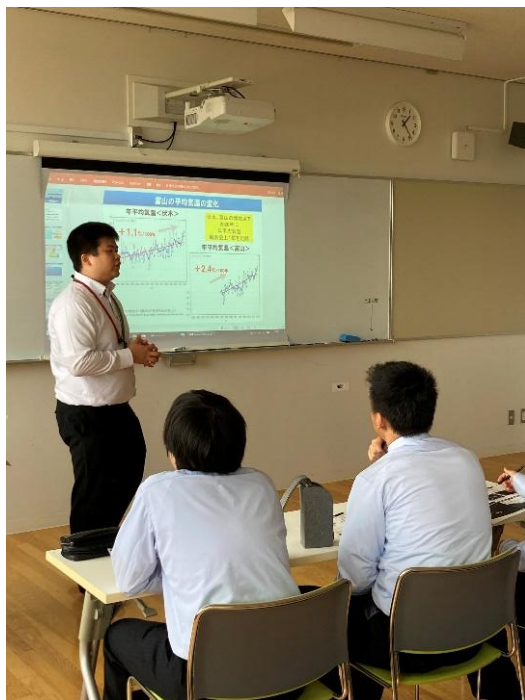
ロシア：ハバロフスク地方

(5) 実施経過

9月頃まで 参加自治体が学習会を企画、参加者募集

11月頃まで 参加自治体がブルーカーボンに関する学習（座学、現地実習・現地体験学習）を実施

(6) 活動風景



勉強会（富山県）



現地実習（ハバロフスク地方）

【No.6 フォトコンテスト「Eco-selfie - 自撮りで環境保護」】提案自治体：トムスク州

1 趣旨、目的

環境保護に関するフォトコンテストの実施を通じて、環境保護活動へ市民の参加を促し、環境保護文化を形成する。

2 事業内容

(1) 実施時期

2024年5月8日～12月30日

(2) 実施場所

参加自治体の生活圏

(3) 実施方法

- ① 参加自治体において環境保護に関する写真を募集
- ② 参加自治体が応募写真をトムスク州に送付
- ③ トムスク州が写真の構成、オリジナリティ、環境保護活動の内容等の観点で写真の審査を行い、優れたものを表彰
- ④ トムスク州が優秀者の賞状・賞品、参加者全員の参加証明書を参加自治体に送付
- ⑤ 参加自治体が賞状・賞品や参加証明書を該当者に送付
- ⑥ トムスク州政府国際・地域関係局のSNSで優秀作品を紹介

(4) 参加自治体

3か国13自治体

日 本：富山県

モンゴル：ウランバートル市

ロシヤ：ブリヤート共和国、サハ共和国、ザバイカリエ地方、
クラスノヤルスク地方、沿海地方、ハバロフスク地方、アムール州、
イルクーツク州、サハリン州、トムスク州、ケメロヴォ州

※ 応募作品数：332点

(内訳)

植林行動・清掃活動等 : 129点

エコライフ（環境に配慮した生活）：62点

エコ作品：141点

(5) 実施経過

5月8日～11月17日 参加自治体での写真の募集、トムスク州での写真の受取り

11月18日～12月30日 トムスク州による写真の審査・とりまとめ

1月～3月 トムスク州から参加自治体への賞状等の送付、SNSでの優秀作品の掲載

(6) 応募作品

トムスク州「Oblkompriroda」のSNS (VKontakte) で応募作品の閲覧が可能。

https://vk.com/album-126197212_281076431



応募作品 (抜粋)

【No. 7 北東アジア地域生物季節調査】提案自治体：富山県

1 趣旨、目的

地球温暖化・気候変動について、北東アジア地域の自治体が連携して市民レベルでの対策を促すため、身近な指標を用いて温暖化の状況をモニタリングすることにより、市民の温暖化対策・エコライフの実践に係る意識啓発を図る。

2 事業内容

(1) 実施時期

年数回程度

(2) 実施場所

参加自治体の生活圏

(3) 実施方法

- ・ 調査は各自治体が地元の小中高等学校、民間団体等の参加を得て、富山県が作成したマニュアルに基づいて実施
- ・ 調査活動と併せて、地球温暖化・気候変動の影響や対策に関する学習を実施
- ・ 調査結果は富山県（及びNPEC）が取りまとめを実施

(4) 参加自治体

2か国2自治体

- ・ 日 本：富山県
- ・ ロシア：ハバロフスク地方

(5) 実施経過

4～5月 参加者の募集
4～12月 調査の実施
～12月 富山県へ実施結果を報告

(6) 活動状況

《富山県》

① 学習会

自然保護意識の普及啓発のため、富山県内の自然公園等にて来訪者に自然解説を行う富山県自然解説員（ナチュラリスト）の研修会にて、地球温暖化・気候変動の影響や対策、生物季節調査の実施方法について講座を実施

- ・ 実施時期：2024年12月14日
- ・ 実施場所：富山県民会館304号室
- ・ 参加者：富山県民 計67名

② 啓発

各種イベントにおいて、生物季節調査に係るパネル展示を行い、生物季節事象の変化傾向を説明するとともに、調査への参加を促した。

- ・ 活動風景：



学習会



イベントでのパネル展示

《ハバロフスク地方》

ミチュリンスコエ町アルセニエフ記念総合学校「青少年ナチュラリスト」団体及び「みんなで森を育てよう」森林学校の生徒、教員 25 名に、「温暖化の原因について」のテーマを設定して学習会を実施。



学習会

Ⅲ 2025年個別プロジェクトの提案状況・参加意向

ⅰ 提案された個別プロジェクト

No.	プロジェクト名	提案自治体
No. 1	北東アジア地域青少年環境サミット	富山県
No. 2	漂着物の発生抑制に関する調査・啓発事業	富山県
No. 3	北東アジア地域環境ポスター展	慶尚南道
No. 4	海岸生物調査	富山県
No. 5	フォトコンテスト「Eco-selfie - 自撮りで環境保護」	トムスク州
No. 6	北東アジア地域生物季節調査	富山県

ⅱ 各個別プロジェクトの提案内容

【No. 1 北東アジア地域青少年環境サミット】提案自治体：富山県

1 趣旨、目的

北東アジア地域の青少年（主に高校生）を対象に、環境問題に関する講演や活動発表、意見交換等を通じて相互の友好と理解を促進し、持続可能な社会づくりに向けてグローバルな視点で地域の環境保全に取り組む人材を育成する。

2 事業内容

（１）実施時期

2025年8月ごろ

（２）主催

富山県

（３）実施方法

- ・ 1年ごとに日中韓露の自治体が持ち回りで実施
- ・ 実施自治体が事業内容を決定
- ・ 2025年は「オンライン形式」で実施
- ・ 環境問題に関する講演や意見交換、環境保全活動等の実施を想定

（４）年間計画

2025年5月ごろ 参加者募集

2025年8月ごろ 事業実施

3 期待される成果

- ・ 持続可能な社会づくりの重要性を理解し、グローバルな視点で地域の環境保全活動をリードできる人材の育成が期待される。
- ・ 事業を通じて、ともに環境問題に取り組んでいこうとする連帯感が生まれ、国際的なネットワークの構築が期待される。

4 参加自治体への協力要請事項

（１）協力要請の内容

参加自治体内での参加者の募集、実施自治体との連絡調整、参加者の支援

（２）経費負担の要請

- ア 経費負担の有無
あり

イ 経費負担の概要

参加自治体における一切の費用（会議室使用料、通信設備費、通信費等）は、参加自治体が負担する。

（３）参加要請自治体

すべての北東アジア地域自治体連合会員自治体ほか

【No. 2 漂着物の発生抑制に関する調査・啓発事業】提案自治体：富山県

1 趣旨、目的

海岸漂着物の調査活動に加え、環日本海地域の沿岸自治体での取組みも含めた発生抑制対策に関する学習会を実施することで、上流域から沿岸地域までの漂着物・ごみ問題についての理解を深め、子どもたちや地域住民の「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心」を育み、日常生活から始めることのできる発生抑制のための行動を促進する。

2 事業内容

子どもや市民の参加を得て、漂着物調査活動及び排出抑制対策に関する学習会を行う。また、可能な自治体においては、漂着物や家庭から出る廃材を利用したアート作品の制作を行う。

(1) 漂着物調査活動

- ア 実施時期：2025年秋季
- イ 実施場所：参加自治体の海・河川（内陸河川を除く。）の沿岸地域
- ウ 実施方法：各参加自治体が地元の小中高等学校、民間団体等の参加を得て、調査活動（漂着ごみ及びマイクロプラスチック）と学習会を実施（内陸部の自治体は、清掃活動と学習会を実施）
実施結果は富山県（NPEC）が取りまとめを実施
- エ 年間計画：5月 参加自治体の募集
9月～11月 調査の実施
12月～ 富山県への報告

(2) 漂着物アート制作

- ア 実施時期：通年
- イ 実施場所：各参加自治体内の会場等
- ウ 実施方法：富山県が提供する手引書等も参考にして、各自治体が地元の実状に応じて、学生、住民等の参加を得て実施
- エ 年間計画：5月 参加自治体の募集
7月～11月 アート制作の実施
12月～ 富山県への報告

3 期待される成果

「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心」を育むとともに、住民の環境保全に対する意識を高揚する。

4 参加自治体への協力要請事項

(1) 協力要請の内容

- ① 漂着物調査活動
 - ・ 実施場所の選定
 - ・ 学習会・調査活動を実施する民間団体等の確保
 - ・ 学習会・調査活動を実施する民間団体等の指導、学習会・調査活動の実施
 - ・ 実施結果の富山県への報告
- ② 漂着物アート制作
 - ・ 活動の企画、関係者との調整、参加者の募集等
 - ・ 漂着物等の素材、活動に使用する道具等の準備

- ・ 住民等の参加による活動の実施、結果のまとめと報告

(2) 経費負担の要請

ア 経費負担の有無

あり

イ 経費負担の概要

必要な経費は参加自治体による負担とする。

(3) 参加要請自治体

中 国：遼寧省、河北省、山東省、江蘇省

日 本：北海道、青森県、秋田県、山形県、新潟県、石川県、福井県、京都府、
兵庫県、鳥取県、島根県、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県

韓 国：江原特別自治道、忠清南道、慶尚南道

ロシア：沿海地方、ハバロフスク地方、サハリン州

* 漂着物調査活動については、北東アジア地域自治体連合会員自治体以外の北東アジア地域の沿岸自治体に広く参加を呼びかける。

(参考) 富山県における漂着物活動、アート制作の様子



①海岸での漂着物の調査



②海洋ごみに関する学習



③漂着物アートの制作



④作品の展示

【No.3 北東アジア地域環境ポスター展】提案自治体：慶尚南道

1 趣旨、目的

北東アジア地域の次代を担う子どもたちから「環境の保全」をテーマとしたポスターを募集し、優秀な作品を展示することにより、北東アジア地域における市民の環境保全意識を一層高める機会とする。

2 事業内容

(1) 実施時期

2025年6月

(2) 実施場所

慶尚南道内

(3) 実施方法

- ・ 各参加自治体が当該自治体内の子どもたち（小中高生）から作品を募集、審査し、優秀作品を選定
- ・ 各参加自治体が優秀作品を電子化し、開催自治体（慶尚南道）に送付
※ オリジナル作品のやり取りは行わない。
- ・ 慶尚南道が参加自治体の各作品をプリントアウトし、ポスター展を開催・展示して普及啓発を実施。

(4) 年間計画

2～4月 作品の募集、開催自治体への電子データの送付
6月 環境ポスター展の開催
8月 開催過程や展示作品のウェブサイト掲載

3 期待される成果

- ・ 市民の環境に関する意識が高まる。
- ・ 北東アジア地域の環境問題に対する理解や共通認識が深まる。

4 参加自治体への協力要請事項

(1) 協力要請の内容

- ・ 参加自治体内で作品募集、審査
- ・ 優秀作品（タイトル、作者のメッセージ等とあわせて）の電子データを開催自治体に送付（2025年の募集作品が時期的に送付できない場合は2024年の作品でもよい）

＜参考：開催自治体で実施すること＞

- ・ 参加自治体への開催通知、優秀作品の送付依頼
- ・ 開催自治体内での作品募集、審査
- ・ 参加自治体から送付された作品（電子）をプリントアウトし、ポスター展を開催、普及啓発の実施
- ・ ウェブサイトに結果を掲載

(2) 経費負担の要請

ア 経費負担の有無
あり

イ 経費負担の概要

- ・ 参加自治体内における作品募集・審査、開催自治体への送付に係る費用は、参加自治体が負担する。

- (・ ポスター展や普及啓発イベント等の開催費用は、開催自治体が負担する。)
- ウ 参加要請自治体
すべての北東アジア地域自治体連合会員自治体ほか

【No. 4 海岸生物調査】提案自治体：富山県

1 趣旨、目的

北東アジア地域の海洋生物多様性の保全に向けて、各地域に生息する生物に関する情報の収集、指標生物の生息調査を実施する。本調査を通じて、市民・子どもたちの海の生物への興味を深めてもらい、環境保全・生物多様性保全の意識高揚を図る。

2 事業内容

(1) 実施時期

年1回程度

(2) 実施場所

参加自治体の海岸（多くの生物が生息する岩場や磯場が望ましい。）

(3) 実施方法

- ・ NPECが作成した調査マニュアルに基づいて実施し、参加自治体と共有
- ・ 海の生物に関する知識を有する調査機関やNGO/NPO、専門家が主体となり、市民の参加のもと、海岸の生物を収集し、観察生物名・写真を記録
- ・ 地球温暖化や外来生物に係る指標生物の存在有無の確認
- ・ 調査結果は、NPECが取りまとめ、ウェブサイトを通じて情報発信

(4) 年間計画

6～7月	参加者の募集
7～8月	調査の実施
11月頃	富山県へ実施結果を報告

3 期待される成果

- ・ 海岸に生息する海洋生物の北東アジア地域での分布状況の把握
- ・ 指標生物の生息範囲の把握
- ・ 海洋生物多様性、海洋環境の保全に対する意識の高揚

4 参加自治体への協力要請事項

(1) 協力要請の内容

- ・ 本調査を実施する調査機関、NGO/NPO又は専門家の選定
- ・ 調査機関との調査実施、結果報告に関する連絡調整

(2) 経費負担の要請

経費負担なし（経費の掛からない範囲で実施）

(3) 参加要請自治体

内陸部の自治体を除く北東アジア地域自治体連合会員自治体ほか

【No.5 フォトコンテスト「Eco-selfie - 自撮りで環境保護」】提案自治体：トムスク州

1 趣旨、目的

環境保護に関するフォトコンテストの実施を通じて、環境保護活動へ市民の参加を促し、環境保護文化を形成する。

2 事業内容

(1) 実施時期

2025年4月～12月

(2) 実施場所

参加自治体の生活圏

(3) 実施方法

- ① 参加自治体において環境保護に関する写真を募集
 - 環境保護に関する写真
 - ・ 植林行動や清掃活動等を実施している写真 (before & after)、エコライフを実践している写真 など
 - 写真の仕様
 - ・ JPG、JPEG形式の自撮り写真の電子版 (自撮り写真に限る。)
 - ・ フレーム追加などの加工、デジタル画像修正、コンピュータを使って作成したコラージュなどの写真は対象外
 - 募集の区分
 - ・ 未就学児 (保護者等と一緒に撮影など)
 - ・ 児童・生徒 (小学生、中学生、高校生)
 - ・ 学生 (大学生、短大生、専門学校生)
 - ・ 一般
- ② 参加自治体が応募写真をトムスク州に送付
- ③ トムスク州が写真の構成、オリジナリティ、環境保護活動の内容等の観点で写真の審査を行い、優れたものを表彰
- ④ トムスク州が優秀者の賞状・賞品、参加者全員の参加証明書の電子ファイルを参加自治体に送付
- ⑤ 参加自治体が賞状・賞品や参加証明書を該当者に送付
- ⑥ トムスク州がSNSで優秀作品を紹介

(4) 年間計画

4月～10月	参加自治体での写真の募集、トムスク州での写真の受取り
11月	トムスク州による写真の審査
12月	トムスク州から各参加自治体への賞状等の送付、SNSでの優秀作品の紹介

3 期待される成果

市民の環境保護活動への積極的な参加

4 参加自治体への協力要請事項

(1) 協力要請の内容

参加自治体内での作品募集、トムスク州への作品の送付 (電子メール)、被表彰者への賞品等の送付など

(2) 経費負担

ア 経費負担の有無
あり

イ 経費負担の内容

- ・ 参加自治体内での作品募集に要する経費
- ・ 参加自治体から被表彰者への賞品等の送料

(3) 参加要請自治体

すべての北東アジア地域自治体連合会員自治体ほか

【No. 6 北東アジア地域生物季節調査】提案自治体：富山県

1 趣旨、目的

桜の開花やトンボの初見など、気候変動の影響を身近に感じることができる「生物季節」に注目し、調査や学習会を通じて脱炭素社会への意識醸成を図る。

2 事業内容

(1) 実施時期

年数回程度

(2) 実施場所

参加自治体の生活圏

(3) 実施方法

- ・ 各自治体が地元の小中高等学校、民間団体等の参加を得て、富山県が作成したマニュアルに基づいて調査を実施
- ・ 調査活動と合わせて、地球温暖化・気候変動の影響や対策に関する学習を実施
- ・ 調査結果は富山県（及びNPEC）が取りまとめを実施

(4) 年間計画

4～5月 調査参加団体・参加者の募集

4～12月 調査の実施

12月頃 富山県へ実施結果を報告

3 期待される成果

- ・ 市民の気候変動対策、生物多様性に対する意識の高揚
- ・ 環境保全につながる市民レベルのエコライフ実践の促進

4 参加自治体への協力要請事項

(1) 協力要請の内容

- ・ 調査実施場所の選定
- ・ 調査に合わせて地球温暖化・気候変動の影響や対策に関する学習会を実施する民間団体等の確保
- ・ 調査・学習会を実施する民間団体等の指導、調査・学習会の実施
- ・ 実施結果（調査・学習会の開催概要、課題等）の富山県への報告

(2) 経費負担の要請

- ・ 必要な経費は、参加自治体による負担とする。

(3) 参加要請自治体

すべての北東アジア地域自治体連合会員自治体ほか

iii 個別プロジェクトへの参加意向 (◎：提案自治体 ○：参加意向自治体)

プロジェクト 自治体※1		環境 サミット	漂着物※2	ポスター展	海岸生物 調査	フォト コンテスト	生物季節 調査
中国	遼寧省	○	—	○	—	○	—
	山形県	—	○ S	—	—	—	—
日本	富山県	◎	◎	○	◎	○	◎
	石川県	—	○ S	—	○	—	—
	福井県	—	—	—	○	—	—
	兵庫県	—	—	○	—	—	—
	鳥取県	—	○ S	—	○	—	—
	島根県	—	○ S	—	—	—	—
	山口県	—	○ S	—	—	—	—
	長崎県	—	○ S	—	—	—	—
	沖縄県	—	—	○	—	—	—
	江原特別自治道	○	○ S	○	○	○	○
韓国	忠清南道	—	—	○	—	—	—
	慶尚南道	—	—	◎	—	—	—
ロシア	サハ共和国	○	—	○	—	○	○
	アルタイ地方	○	—	○	—	○	—
	クラスノヤルスク地方	○	—	○	—	○	—
	ハバロフスク地方	○	○	○	○	○	—
	アムール州	—	—	○	—	○	—
	トムスク州	○	—	○	—	◎	—
キルギス	チュイ州	○	—	○	—	○	—
参加意向国・自治体数 (国数/自治体数)		5 か国 9 自治体	3 か国 9 自治体	5 か国 14自治体	3 か国 6 自治体	5 か国 10自治体	3 か国 3 自治体

※1 参加意向を示した自治体のみを記載（意向照会先は、上表記載自治体以外にも実施。）
下線の自治体：北東アジア地域自治体連合の非会員自治体

※2 ○ S：漂着物調査活動と漂着物アート制作のうち前者のみ実施

Ⅲ 次期コーディネート自治体就任希望調査の結果

2023年7月から富山県がNEAR環境分科委員会のコーディネート自治体を務めてきたが、その任期が2025年7月に満了する。このため、次期コーディネート自治体就任希望調査を実施したところ、次期コーディネート自治体への就任を希望した自治体は、富山県のみであった。

Ⅳ 環境分科委員会の活動計画（2025年）

年月	内容
適宜実施	○提案自治体と参加意向自治体が個別プロジェクトの実施に向けて協議 ○合意があった場合、個別プロジェクトを実施
8月～	○コーディネート自治体が、2025年個別プロジェクトの実施状況及び2026年個別プロジェクトの提案について調査を実施し、結果を取りまとめ
秋	○第17回環境分科委員会の開催 （議題）・次期コーディネート自治体の選出 ・2025年個別プロジェクトの実施状況 ・2026年個別プロジェクトの提案状況 ・各自治体の環境施策に関する情報交換 等
冬	○コーディネート自治体が2026年個別プロジェクトへの参加意向調査を実施し、結果を取りまとめ